



プランタン管弦楽団 第21回定期演奏会

PROGRAMME

山田 耕柞

交響曲 ヘ長調「かちどきと平和」

L.v. ベートーヴェン

「レオノーレ」序曲 第3番 op.72

A. ドヴォルザーク

交響曲 第6番 二長調 op.60

指揮 ● 中村 暢宏

2023

7.23 日 12:45 開場
13:30 開演

愛知県芸術劇場 コンサートホール

TEL.052-971-5609 [地下鉄栄駅より徒歩3分]

全自由席 800円 [当日1,000円]

チケットぴあ <https://pia.jp/> Pコード [242452]

全国のセブンイレブンでもお買い求めいただけます
愛知芸術文化センタープレイガイド tel 052-972-0430
名古屋市文化振興事業団チケットガイド(ナディアパーク8F)
tel 052-249-9387

* 未就学児の方はご入場いただけません

* 託児サービスはありません

* 前売券が完売した場合は当日券の販売をいたしません
最新の情報はプランタン管弦楽団のホームページで
ご確認ください



主催 ● プランタン管弦楽団

後援 ● 愛知県 名古屋市 公益財団法人名古屋市文化振興事業団 中日新聞社

お問合せ ● プランタン管弦楽団 050-6871-7553

URL <https://orchestreprintemps.com/> since-2000@orchestreprintemps.com



第20回定期演奏会 2022.7.3 愛知県芸術劇場コンサートホール

プランタン管弦楽団は2000年5月にわずか十数名から歩み始めました。現在では音楽を愛する様々な仲間が集まり、70名ほどの団員を擁するオーケストラに成長しました。プランタン (printemps) はフランス語で“春”。毎年忘れることなく春に咲く桜のように、皆様の心に感動を届ける音楽を目指しています。



指揮
中村 暢宏

Nobuhiro NAKAMURA

1973年東京生まれ。1996年愛知県立芸術大学卒業（ヴィオラ専攻）。これまでに宮松重紀、河津政實、田久保裕一、秋山和慶、A. ボリシユク、V. シナイスキーの各氏に指揮法を師事。ヴィオラ奏者として、東京フィル、名古屋フィルなど各地のオーケストラで活動。指揮者に転身後はプロ・アマ数多くのオーケストラを指揮。オペラやバレエにおいても成果を上げ、その活動の場は日本国内におさまらず、ロシア、ブルガリア、オーストリア（ウィーン楽友協会）での海外公演において、ショスタコヴィチ、ベートーヴェン、マーラー、伊福部昭の大曲・難曲を指揮し、絶賛を受ける。

● **山田 耕作**
交響曲 ヘ長調「かちどきと平和」

Kóşçak Yamada 1886-1965 Japan
Symphony in F-major “Triumph and Peace” (1912)

1912年に留学していたベルリンで卒業作品として作曲され、日本人が手がけた初めての交響曲となった。初演は帰国後の1914年に作曲者自身の指揮により行われた。海外留学で身につけた西洋音楽の手法を駆使して豊かな感性を注ぎ込んだ作品である。



● **L.v. ベートーヴェン**
「レオノーレ」序曲第3番 op.72

Ludwig van Beethoven 1770-1827 Germany
"Leonore" Overture No.3, op.72 (1806)

ベートーヴェンが作曲した唯一のオペラ「フィデリオ」のために書かれた四つの序曲のうちの一つである。交響曲第3番「英雄」を書き上げた直後の1806年に作曲し、初演された。オペラ劇中の音楽主要素材を用いて音楽が展開される。



● **A.ドヴォルザーク**
交響曲 第6番 二長調 op.60

Antonín Dvořák 1841-1904 Czech
Symphony No.6 in D-major, op.60 (1880)

チェコの作曲家ドヴォルザークが、1880年に作曲した交響曲である。最初に出版されたため、かつては「第1番」と呼ばれていた。交響曲作曲家としての出発点とも言える作品である。親交のあったブラームスの影響を受け、美しい民族的な旋律が全楽章に見受けられる。

